

県民の森 花ごよみ 11月号

～今月はこんな実が見られます～



ヤブムラサキ
落葉低木。枝や葉がほとんど無毛のムラサキシキブに対し、本種は肉眼でも見えるほど毛が多い。本州(宮城県以南)～九州に分布する。〈クマツヅラ科〉



ヤマノイモ
ヤマノイモに似るが、種子は楕円形で片側にだけ翼が発達するのが特徴。根茎は長寿を祈る正月の飾りに使われるが、苦みが強く食べられない。雌雄異株。別名:ジネンジョ 〈ヤマノイモ科〉



ヒサカキ
山野にふつうに生えるつる性の多年草。名はサトイモ(里芋)に対する。種子は円形の翼をもっており、熟すとふちの針金のようなため金のはじけて裂ける。雌雄異株。別名:ジネンジョ 〈ヤマノイモ科〉



ヤブコウジ
山地の日陰を好み分布している常緑低木。地下茎を伸ばして繁殖し、ときに大群落をつくることもある。昔から多くの園芸品種が知られている。〈ヤブコウジ科〉



紅葉ポイント
(コリノキ、モミジバフウなど)



ヒサカキ 左:雌株(果実) 右:雄株(花芽)

常緑の低木～小高木。関東地方ではサカキの代用として、枝葉を神事に使う。果実はメジロ、ツグミ、ヒヨドリが好んで食べる。雌雄異株。〈ツバキ科〉



ツルリンドウ
(点在している)
長さ40～80cmになるつる性の多年草。つるは紫色を帯びる。果実の頂には花柱が残っている。〈リンドウ科〉



- トイレ
- モデルコース：歩いて約90分

発行:茨城県植物園管理事務所



ガマズミ
落葉低木。果実は卵形で長さ6～8mmの大木さで熟すと甘酸っぱい。霜に2～3回あたらると甘くなる。小鳥や猿が喜んで食べる。〈スイカズラ科〉

紅葉ポイント
(モミジバフウ)

ガマズミ



ムラサキシキブ
落葉低木。名は、美しい紫色の果実を紫式部にたとえたという説がある。葉が落ちたあとも、果実は枝に長く残っている。日本全土に分布する。〈クマツヅラ科〉